

プロミツソン中吳日本人會の

藤浪博士に對する 六百ミル請求の眞相

過般寄生虫病研究の目的でアーモン博士各區殖民地同胞の費用を提出した佐々木會長は評議員一同の懇意より留任すると

便検査をなした藤浪博士一行に對して同地中央日本人會が自動負擔銀請求の件に關しては、佐々木太郎氏も痛く會長としての責任を感じ去る四日全會常任幹事村崎豊

重氏手許に辭表を提出した、爲に全會は急據許議員會の必要を認め去る十日全驛手島旅館に全會失態の前策に關する評議員會を開催した。右に關し本社員の探聞する

處によれば、去る五月十六日博士一行ソス驛に到着した翌朝セン

トロルホテルに於て一行の案内役は當方博士一行にて支拂するか

あつたので、全地に出張してゐる今回の検査を要する費便運搬費等

部宛通知を發し袋便の蒐集努力し數日渡りソス驛カンタカ

ザの検査所に運搬した。

木氏は一切を佐々木會長に托し出

り全會役員の案内で悉くすまし

り聖市松山旅館へ去る六日頃か

日本教育會理事會の開催があり終り全會役員は江

口博士を別室に招き五百数十ミルの自動車賃百五十ミルが加へられてゐたの請求書を差出今博士よ

り受取つたものであつた。勿論ドサクサと混雜した當夜の事は、多少參照する點はあるも全く

注意の届き得なかつた事に對しては、多少參照する點はあるも全く

役員の費消した百五十ミルをも、請求した點に對しては全會は其の

責任を免れる事は出來ない。

評議員會に於て協議の結果兩博士に對しては何か伯國土產を差上

に無科宿泊所入りとなつた。

げたら好かうに一決し金四百ミルを大使館野田書記官宛送金した

ととなつた。

初めにもノウル市の澤尾旅館で秋

田余三郎氏の弟から二コント餘り

を取つたのを初め、中山

常盤等に宿り込

では荒し、太年

北米等が流れて來たゴリフギ

のしりとも

五尺二寸の

ノロ線アランタン驛

日本人會に

ノロ線アランタン驛

日本年

の过去後州統

として選ばれ居た

ドットル、ジユリオ、ブレスステ

二十五レグアスのダイヤ地帶に居

サンバウロ

松本とは假名で、五尺二寸の

此奴前月初めには小川旅館在

べて見なれ、この時は的確本原

中に同宿の白井介人氏から二コント餘りを失せたのを初め、中山

取調べの結果證據不充分で十一日

常盤等に宿り込

では荒し、太年

北米等が流れて來たゴリフギ

のしりとも

五尺二寸の

ノロ線アランタン驛

日本人會に

ノロ線アランタン驛

日本年

の过去後州統

として選ばれ居た

ドットル、ジユリオ、ブレスステ

二十五レグアスのダイヤ地帶に居

サンバウロ

松本とは假名で、五尺二寸の

四角い無等の人物の悪い男だと

は先來、アザダリナ驛行ハナレ

はアズ、ロンドンノボリスより

二十五レグアスのダイヤ地帶に居



女

出

上

(九十二)

瑞 璞 園

下

入

中

心

前

山

沖

平

ル

ウ

バ

駅

心

館

旅

本

日

館

前

心

山

中

信

一

所

次

取

符

切

定

指

船

商

阪

大

所

次

廣

末

大

和

小

川

中

村

渠

三

郎

源

右

衛

門

三

郎

三

三

三

郎

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太

太